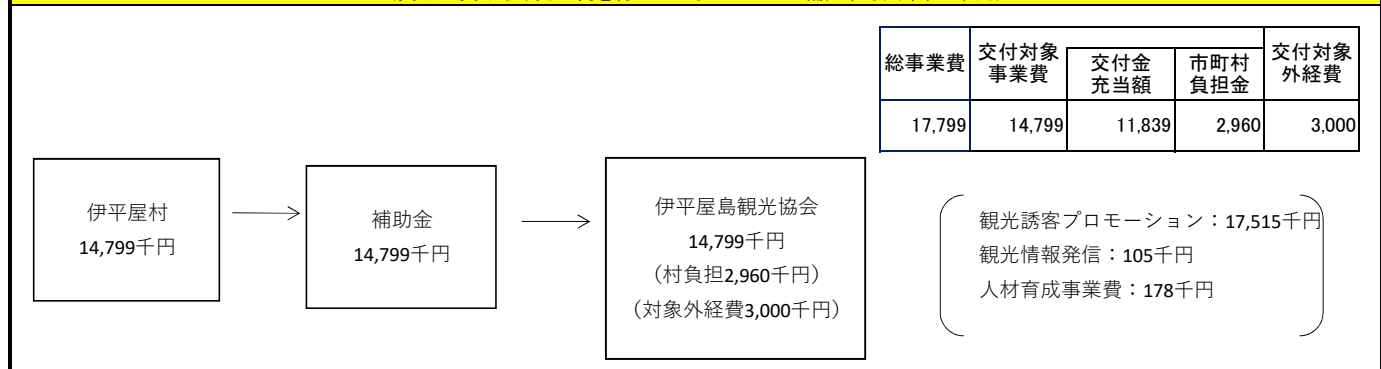


市町村名		伊平屋村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-① 商工観光産業支援事業		沖繩21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(12)-ア			
	担当部課名	観光交通課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		観光リゾート産業の振興		
				沖繩振興基本方針該当箇所	III-1-(1)			
事業内容	伊平屋村の持続的な観光振興を図るため、伊平屋島観光協会へ支援(観光誘客プロモーション、観光情報発信、民泊受け入れ支援、商工業と観光業の連携強化等)を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,211	20,058	15,238	17,192	16,804	
		(b) 予算現額	17,058	19,911	17,470	17,192	18,804	
		(c) 増減額(b-a)	6,847	▲147	2,232	0	2,000	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	17,058	19,911	17,470	17,192	18,804	
	B. 執行済額		15,027	17,972	16,282	17,192	17,799	
	うち交付金充当額		12,021	14,377	13,025	13,753	11,839	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		88.1%	90.3%	93.2%	100.0%	94.7%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの予算は概ね計画どおり執行できた。村観光協会からの要望を受け、村で自己負担分2,000千円の増を行ったが、渡航自粛等の影響も重なり事業実績および決算等により1005千円は減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	・参画民家50軒を目標とするべく各地域戸別訪問の実施	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	(      )		
		実績	実施済	実施済	実施済			
	・参画民家の参入 50軒	目標	( 50軒 )	( 50軒 )	( 50軒 )	(      )		
		実績	52軒	60軒	43軒			
	・他県PR活動の実施	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	(      )		
実績		実施済	実施済	実施済				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域戸別訪問の実施については、43軒の戸別訪問を実施した。</li> <li>・活動目標の参画民家の参入(50軒)については、高齢により休業する民家が増えつつある中、新型コロナウイルス感染症の影響により長期間に渡り民泊事業を行うことができなかったことで、新規で参入する民家が見込めず、減少分を補うことが困難であったため目標を達成することができなかった。</li> <li>・他県PR活動については、他県修学旅行フェア等への参加によりPR活動の実施を行った。</li> </ul>							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
			目標	(      )	( 800人以上 )	( 1,210人以上 )	( 4,983人以上 )	(      )
	民泊利用者数 4,987人以上		実績		1,116人	4,431人	0人	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度中の1年間は民泊受け入れを停止したこともあり、目標の達成はできなかった。</li> <li>・本年度は発症者の少ない時期に、個人客向けのマリンツアーなどの受け入れに注力することとなった。</li> <li>・沖縄県修学旅行受け入れ事業者向けの防疫セミナーを受けるなど、コロナ禍以後の民泊受け入れ事業の再開に向けて準備を行っている。</li> <li>・ホスピタリティの向上を目的とした、民泊事業者向けの研修会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。</li> </ul>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(民家利用者数4,983人以上) 本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響が非常に大きく、社会的環境の変化により民泊受け入れは1年間停止となり、また、県内・県外ともに全ての修学旅行がキャンセルとなった。 新型コロナウイルスの影響があったものの、社会全体的に感染拡大が少ない時期に県外誘致活動のPR実施を行うことができた。	(民家利用者数4,983人以上) ・本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全ての民泊事業がキャンセルとなった。新型コロナウイルス感染症が収束次第すぐに民泊受入を再開すべく、受け入れ民家との調整を継続的に行い、新規民家の開拓や質の向上を図る必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の防疫対策を含む研修会の再開。

今後の取り組み方針
(民家利用者数4987人以上) ・新型コロナウイルスが収束次第、民泊受け入れを行えるように既存民家との調整をするとともに、新規民家の開拓も継続して行っていく。オンラインでのPRも含め、コロナ禍以後を見据え引き続き県外誘致活動を積極的に推進する。 ・新規民家の参入を促進するとともに、悪天候による体験プログラムの変更に対応できるよう、新たな体験プログラムのオプションを造成する等、ツアーの自走化にむけて、受入側の質の向上によるリピーターの確保を推進する。 ・グリーンツーリズムを意識した、伊平屋村の自然を活かした新たな観光メニューの作成。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



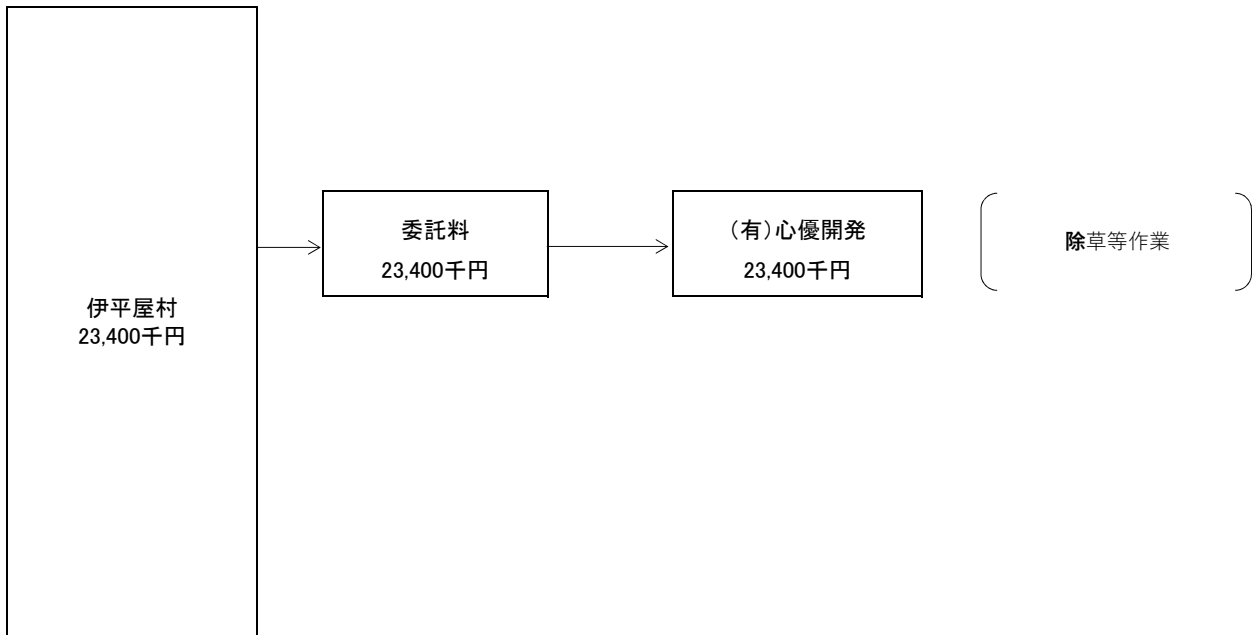
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は「伊平屋島観光協会」で、観光に資する団体であるため、事業内容と一致し適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業完了後検査を実施、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は補助金以外にも、予算を充当しており妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要性等について書類の検査を行い、適正と判断した。

市町村名		伊平屋村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	観光地イメージアップ推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	観光スポットに向かうアクセス道路や公園など多くの人が利用する公共施設等の除草や伐木、海岸の漂着ゴミの収集を行い魅力的な観光地づくりの推進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	(a) 当初予算額	21,885	18,751	22,756	12,888	22,382	
	(b) 予算現額	21,885	18,446	16,807	10,898	26,219	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 305	▲ 5,949	▲ 1,990	3,837	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	21,885	18,446	16,807	10,898	26,219	
	B. 執行済額	20,774	18,213	14,956	10,671	23,400	
	うち交付金充当額	16,619	14,570	11,964	8,537	18,720	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	94.9%	98.7%	89.0%	97.9%	89.2%	
予算の状況の説明	目標値人員以上の人材を確保できたので効率よく作業を行えた。だが、屋外での作業のため夏期の猛暑や雨天及び新型コロナウイルスの影響により勤務日数が減ったことで、2,819千円減となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	効率よく作業を行うためのチーム編成		目標 ( 16名 )	( 16名 )	( 16名 )	( 16名 )	
			実績	23名	21名	19名	16名
	草刈機等のメンテナンス強化		目標 ( )	( 作業後のメンテナンス実施 )	( 作業後のメンテナンス実施 )	( 作業後のメンテナンス実施 )	
		実績	作業後のメンテナンス実施済	作業後のメンテナンス実施済	作業後のメンテナンス実施済		
達成状況説明	・建設業協会に委託することで、作業管理ができ効率的な進捗が図られた。 ・草刈機等のメンテナンス強化を取り入れたことで突発的な故障のリスク軽減に努めることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)
	観光地周辺の景観形成及び道路環境について、観光地としてふさわしい景観及び道路環境であると感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方についてアンケート調査により検証する。		目標 ( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( 80% )
			実績	75%	80%	80%	
	【参考指標】 観光アクセス道路の美化清掃:29.5km 観光関連施設の美化作業:18カ所		目標 ( )	( 29.5km 18カ所 )	( 29.5km 18カ所 )	( 29.5km 18カ所 )	( )
			実績	51.6km 18カ所	51.6km 18カ所	51.6km 18カ所	
進捗状況説明	・新型コロナの影響により観光客数は激減しているが、来島者からは観光地にふさわしい環境であると回答を得られた。 ・県道田名野甫線、村道アグチャー線、村道クマヤ線、村道アツヤビ線、村道アサ線、村道田名島尻西線、村道野甫線、村道屋蔵線、我喜屋タム線、村道灯台線の11カ所、 観光地に関しては前泊後背地、念頭平松、米崎海浜公園、野甫展望台、伊平屋灯台、上ノ川公園、林道の7カ所 計18カ所の美化作業を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・観光客等の多くの方から当事業は必要との声を頂いている為、次年度目標達成に向け、アンケート調査を検証し、継続的にかつ効率よく作業を実施する。</p>	<p>・効率よく作業が行えるよう、年間を通した作業計画をたてると共に、天候不良等があった場合の計画変更も踏まえ、更に作業の効率化を図る。</p> <p>・アンケートの回答に海浜漂着ゴミを収集しきれいな海岸を継続してもらいたいとの意見があり、継続して行う必要がある。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・天候不良等があった場合も臨機応変に対応し作業を行うことができた。今後も作業の効率化を図り、継続的に事業を実施していく。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
23,400	23,400	18,720	4,680	



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村内の団体へ公募を行い、選定をし妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○支出先については、建設業協会実施代行者と委託契約を行った。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模については、事業内容に見合うものとする。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。

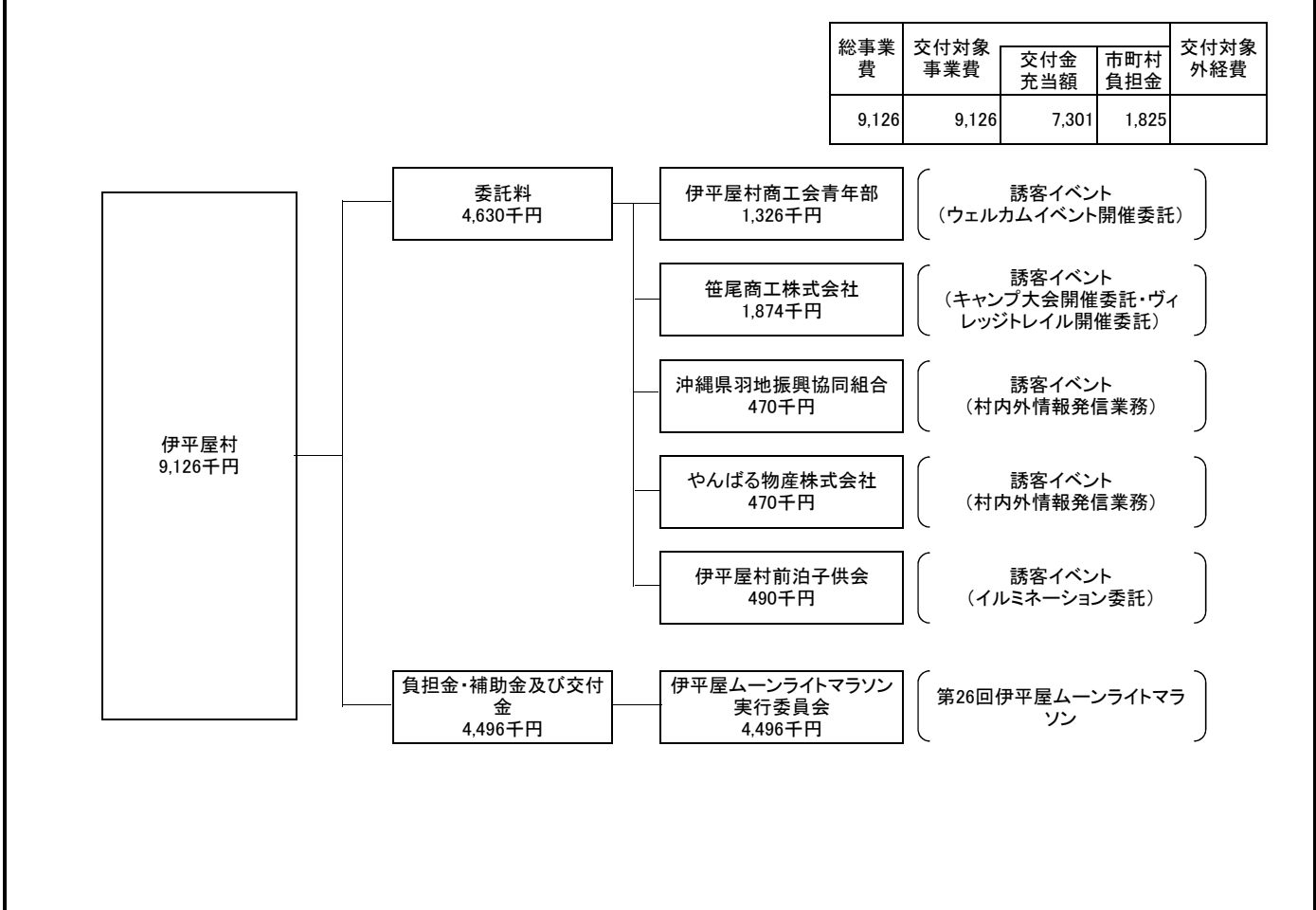
市町村名	伊平屋村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	誘客イベント推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	観光交通課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	村のメインイベントである「いへやまつり」「伊平屋ムーンライトマラソン」や村の自然資源等を活用したイベント並びに、島外において「伊平屋村」をPRするイベントを開催することにより、入域観光客数の増加を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	31,702	35,222	44,235	41,477	39,900
		(b) 予算現額	31,717	35,222	44,235	40,957	9,204
		(c) 増減額(b-a)	15	0	0	▲ 520	▲ 30,696
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		31,717	35,222	44,235	40,957	9,204
	B. 執行済額		31,717	33,135	43,766	40,808	9,126
	うち交付金充当額		25,373	26,507	35,012	32,646	7,301
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	94.1%	98.9%	99.6%	99.2%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベントが中止となったことにより、30,696千円の減額を行った。不用額78千円については、執行残によるものである。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	・委託事業8件	目標	( 9件 )	( 8件 )	( 8件 )	( 5件 )	
		実績	9件	8件	8件	5件	
	・補助事業4件	目標	( 4件 )	( 4件 )	( 4件 )	( 1件 )	
		実績	4件	4件	4件	1件	
達成状況説明	・イベント開催委託については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベント以外は予定通り達成できた。 ・補助事業については「いへやまつり」、「いいな運天港いちゃり場まつり」、「かかし祭り」は中止、「伊平屋ムーンライトマラソン」については、エントリー開始後に開催中止が決定したため、既にかかった経費を実績としている。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	村内入域観光客数12,136人以上	目標	(      )	( 22,861人以上 )	( 23,117人以上 )	( 12,136人以上 )	(      )
		実績		21,885人	25,411人	13,315人	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
	進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症拡大防止等により予定していたイベントの中止に伴い、目標の修正を行った。その結果目標は達成することができたが、入域観光客数は対前年度比52.4%減(▲12,096人)となった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(入域観光客数) ・イベント開催時期の変更などで、入域観光客数は前年度より減少したが、観光客向けに特産品と合わせた感染対策グッズを配布するなどして、安心安全な伊平屋島観光を楽しんでもらえた。 ・開催時期の分散や、受入人数の制限などを実施しても満足してもらえるようなイベント内容を検討する必要がある。 ・伊平屋ムーンライトマラソンについては、エントリー開始後に中止が決定したため、必要経費が発生した。開催可否について、慎重に判断できるよう運営体制の検討が必要である。	(入域観光客数) ・イベント開催時の三密対策やガイドラインの策定、オンライン開催など、コロナ禍においても開催できるような取り組みを検討し、イベントの継続を図る。

**今後の取り組み方針**

(入域観光客数)  
 ・イベントの認知度アップを図るため、マスメディアやSNSを活用した広報活動を行い効果的にPRできるよう努めていく。  
 ・不測の事態に対応できるよう、開催時期の検討や運営体制の強化を図る。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、費用	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費用	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業については、本村の地域性を十分考慮し積極的な事業を行っている村内団体、また村内外の業者とも情報交換を積極的に行え村内情報のPRについて高い効果を発揮できる団体を選定したため妥当である。補助金については、村の発展に寄与する団体で構成される組織を選定したため妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業完了後検査を実施、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は交付要綱に基づき精査、妥当と判断する。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施、目的に即し必要なものであったと判断したため、限定していると判断した。

市町村名		伊平屋村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	公園修景等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成28年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	国指定を受けた念頭平松を中心とした、景観に配慮した公衆トイレ、休憩施設の整備を行い、快適性、利便性の向上とともに観光地としてのイメージアップ、伊平屋らしい原風景の創出を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
	予算の状況	(a)当初予算額	33,123	39,237	6,380	51,048	23,000
		(b)予算現額	33,123	43,632	6,380	51,048	35,379
		(c)増減額(b-a)	-	4,395	0	0	12,379
		(d)繰越額		0	0	0	0
		A.計(b+d)	33,123	43,632	6,380	51,048	35,379
	B.執行済額		33,123	43,632	6,380	51,048	35,379
	うち交付金充当額		26,498	34,905	5,104	40,838	28,303
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		念頭平松公園の敷地造成工事(池埋立)・排水工・植栽工・撤去工・付帯工を実施。池の埋立を行う事から火災の安全対策の観点から防火水槽 1基を次年度予定から前倒しして追加したことにより増額。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	令和2年度 念頭平松公園整備工事	目標	( )	( 公園整備工事の完了 )	( )	( )	
		実績		公園整備工事の完了			
	令和2年度 念頭平松公園防火水槽設置工事	目標	( )	( 1基 )	( )	( )	
実績			1基				
達成状況説明	1. 念頭平松公園の敷地造成工事(池埋立)・排水工・植栽工・撤去工・付帯工を予定通り実施することができた。 2. 防火水槽設置工事 1基を整備することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	令和2年度 念頭平松公園整備工事	目標	( )	( )	( 公園整備工事の完了 )	( )	( )
		実績			公園整備工事の完了		
	令和2年度 念頭平松公園防火水槽設置工事	目標	( )	( )	( 防火水槽設置工事の完了 )	( )	( )
		実績			防火水槽設置工事の完了		
	【R4成果目標】 利便性が確保されたか(80%以上)を含め、当該施設のあり方についてアンケート調査により検証する。		目標	( )	( )	( )	( )
進捗状況説明		念頭平松公園の敷地造成工事(池埋立)・排水工・植栽工・撤去工・付帯工を実施し完了することができた。 念頭平松公園防火水槽設置工事 1基を実施し完了することができた。 景観及び利便性に考慮した工事があった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風等の自然災害の発生や現場作業員の新型コロナウイルス感染により、作業出来なかった期間が発生したため、施工業者との日程調整や状況把握のため工程会議を密に行う必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策を現場でしっかり行い、年度内の事業執行が完了できるよう対策を講じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台風等の自然災害は天候により把握が困難なため、事業を遂行できるよう早期に取り組むと併に、現場での災害が発生しないよう安全確認や管理を適正に行い天候回復後にスムーズに作業移行ができるように管理・指導する。</li> <li>・施工業者と作業スケジュールや進捗状況を工程会議にて共有・把握することにより事業を適正に執行し、新型コロナウイルス感染者が発生しない環境づくりの徹底を図る。</li> </ul>

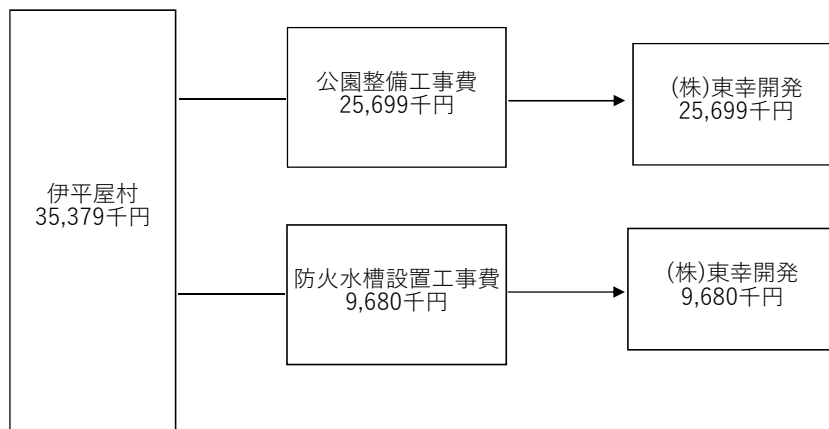
**今後の取り組み方針**

・本村の念頭平松は「国指定の天然記念物」に指定されているため、観光客や公園利用者の利便性の向上を図り、景観形成による周辺整備を行う事で観光地としての魅力を高めるよう、適正な事業実施を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
35,379	35,379	28,303	7,076	

〔 公園整備工事・防火水槽設置工事 〕



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においては沖縄県土木建築部土木工事標準積算基準書に基づき積算したことから適正だったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について完成時の支出等に関する書類の検査確認をし、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		伊平屋村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	伊平屋村「琉球の光」普及啓発事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	文化資源及び観光資源としての価値を高めるために村文化財の修復を行い、併せて案内解説板等の設置を行うことで観光客の利便性向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a) 当初予算額	2,970	3,091	1,628		
	(b) 予算現額	2,970	1,933	1,628			
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,158	0	0	0	
	(d) 繰越額	—					
	A. 計(b+d)	2,970	1,933	1,628	0	0	
	B. 執行済額	1,687	1,933	1,628			
	うち交付金充当額	1,349	1,546	1,302			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	56.8%	100.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	螺鈿鞍の修理については、当初計画のとおり執行することができ、予算執行は適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	螺鈿鞍の修復作業実施	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( )	
		実績	実施	実施	実施		
		目標		( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	螺鈿鞍修復作業については、長期間の展示に耐えうる文化財となるように修復師と密に連携をとり、修復対応を実施し、目標を達成することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 30% )	( 100% )	( 100% )	( )
	実績		30%	80%	100%		
	漆工芸ワークショップの開催	目標	( )	( )	( 開催 )	( )	( )
		実績			未実施		
	ジオガイドブック作成完了	目標	( )	( )	( 作成完了 )	( )	( )
実績				作成完了			
進捗状況説明	前年度より取り組んでいた、螺鈿鞍の修復ができたことで成果目標を達成することができた。						

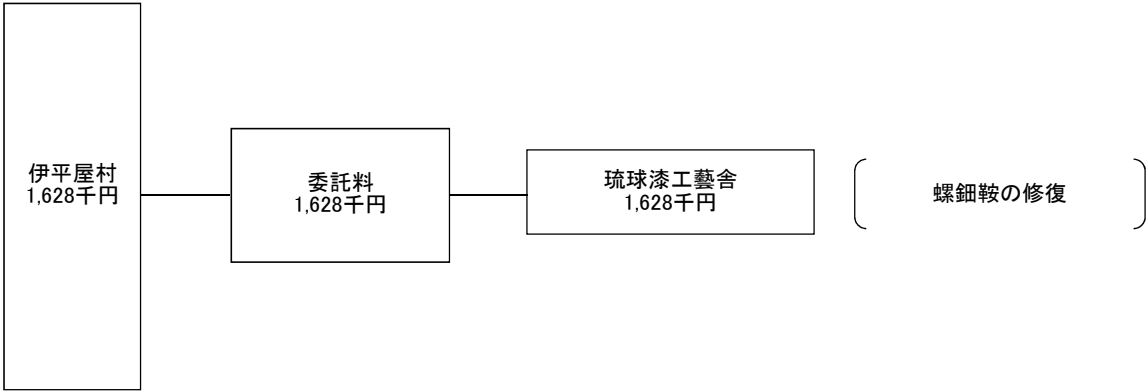
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	文化財の高い価値を広く情報発信し、文化財の魅力を歴史・文化を背景に、ストーリーとして活用し、観光振興に繋げる取組を行う。	・今回修復した文化財を観光資源として、観光推進計画に基づき観光イベントの開催や伝統文化の情報発信強化による誘客、併せて文化資源の保存継承を図りながら観光産業、商工業等の活性化を促進していく。

**今後の取り組み方針**

「螺鈿鞍」の専用展示ケースを制作し、文化財の価値がより伝わる効果がある展示を実施する。  
 螺鈿鞍に関する講演会を開催し文化資源の価値を高め、村内外へ広く情報発信し、村文化財を観光資源とした誘客取組みを実施する。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
1,628	1,628	1,302	326	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○鞍の修復は漆の修復師は県内で1人のみであるため選定方法は妥当である。 ○修理に必要な経費に充当しているので、適切である。 ○費用・用途については精査段階で検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 伊平屋村

令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Header information table including project number (1-6), project name (Port Terminal Function Enhancement Project), fiscal year (FY2020-2024), and plan reference (Okinawa 21st Century Vision Basic Plan).

事業内容: 島の玄関口である前泊港ポートターミナルの機能強化を行い、観光地にふさわしい景観及び施設の利便性向上を図り、施設利用者の満足度を向上させ、さらなる観光客誘致を目指す。

効果発現年度: 当年度 ( ) 後年度(令和5年度) (x)

実施方法: 直接実施 ( ) 委託 (x) 補助 ( ) 負担 ( ) その他 ( )

Table with 7 columns (R2-R6) and 10 rows showing budget and execution status. Includes rows for initial budget, current budget, adjustments, and execution rate (100%).

Table showing activity goals and achievement status. Columns include R2 activity goals and achievement status from R1 to R4. Includes a section for achievement status explanation.

Table showing results goals and progress status. Columns include R2 results goals and achievement status from R1 to R5. Includes a section for progress status explanation.

進捗状況説明: 観光地にふさわしい景観及び利便性に考慮した設計ができた。

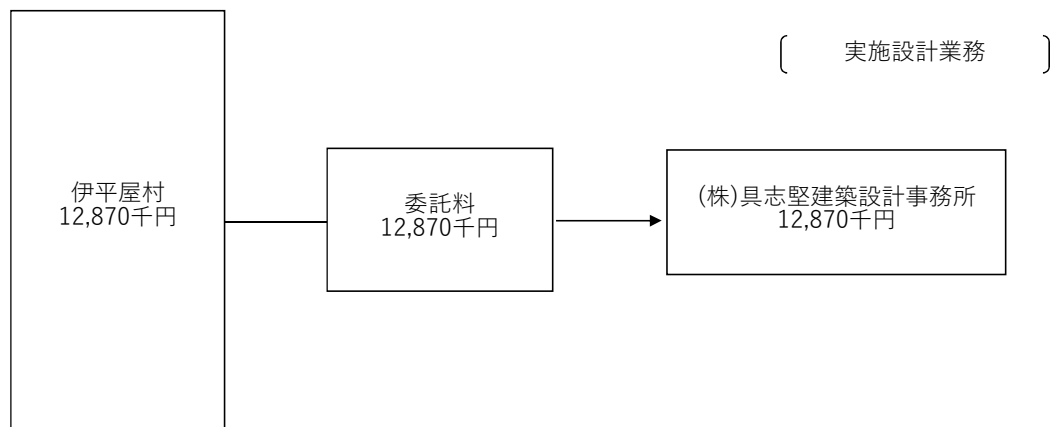
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボートターミナルビル内部改修において、施設を利用しながらの工事は施設利用者の安全・安心の観点から利用が制限され不便をかけることが予想されるため、事前にテナント事業者や関係者と協議する必要がある。</li> <li>・工期の短縮の観点から工事中は仮設(プレハブ)を検討し、予算化を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の改修工事へ向けテナント賃借者等も含めて協議を行う。</li> <li>・ターミナル工事中も観光客の入村や村内外の施設利用は予想されるため、事前にスケジュール間等を各関係者と共有を図り、工期や施設改修内容等、利用者の理解を得られるためのチラシや案内等の広報・周知を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

フェリーの大型化に伴い、船舶電源変圧器が容量不足となっているための取替の改修を行い、テナント事業者や施設利用者が快適に施設を利用できる空間づくりの取組を図る。さらに今後は施設内のバリアフリー化や休憩所等の設置により、観光客の満足度を高める施設整備に取組み、入域観光客増加を目指す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
12,870	12,870	10,296	2,574	



資金の用途の点検評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模においては沖縄県土木建築部建築設計業務等積算基準に基づき積算したことから適正だったと考える。
	×	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について完成時の支出等に関する書類の検査確認をし、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名							
<b>令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-①	病害虫防除事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ウ	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産物の安全・安心の確立 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	さとうきびの生産性の向上と農家所得の向上を目指し、収穫量低下の原因となっている病害虫(イネヨトウ)の被害を防ぐため防除作業を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,693	7,693	7,693	7,877	7,129
		(b) 予算現額	7,693	7,002	7,693	6,335	7,129
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 691	0	▲ 1,542	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		7,693	7,002	7,693	6,335	7,129
	B. 執行済額		7,693	7,002	7,349	6,335	7,129
	うち交付金充当額		6,154	5,601	5,879	5,068	5,703
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	95.5%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初計画のとおり執行することができ、予算執行は適正であったと考える。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	防虫剤(フェロモン剤)散布:160ha		目標 ( 160ha )	( 160ha )	( 160ha )	( 160ha )	
			実績 160ha	168.3ha	141ha	160ha	
			目標 ( )	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	伊平屋村さとうきび生産の目標値の160haに対し、フェロモンチューブ設置面積(目標)も同様に実績値となった。村全体での防除作業を効果的に実施できた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	病害虫防除等によるさとうきび生産量の安定化		目標 ( )	( 4,900t )	( 5,300t )	( 5,500 )	( )
			実績	6,136t	4,237t	5,288t	
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )
			実績				
	進捗状況説明	病害虫(イネヨトウ)の発生時期前に、初期防除を行なったため被害を最小限に抑えることができた。成果目標である生産量の目標値は、自然災害等の影響もなかったこともあり、成果目標に対し概ね達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・病害虫(イネヨトウ)はイネ科雑草・ほ場周辺縁部等の雑草にも寄生するため、農家による周辺雑草の管理について継続的な指導を実施し、さとうきび圃場の被害を防ぐ必要がある。</p> <p>・初期防除により病害虫(イネヨトウ)による被害を最小限に抑えることはできた。</p>	<p>・JA及び生産農家・各関係機関と連携し共同防除として取り組み、イネ科等の周辺雑草等の管理も含めた肥培管理及び薬剤使用等の指導・啓蒙を引き続き推進し、さとうきび圃場の被害軽減および生産量の安定化を図る。</p> <p>・年度毎の病害虫(イネヨトウ)の被害調査を実施し、翌年度以降の成果目標に発生件数又は抑止件数を追加することで、病害虫(イネヨトウ)の被害を防ぐことを目的とした当事業の効果検証を明確化し、共同防除を行う生産農家の意欲向上を図る。</p>

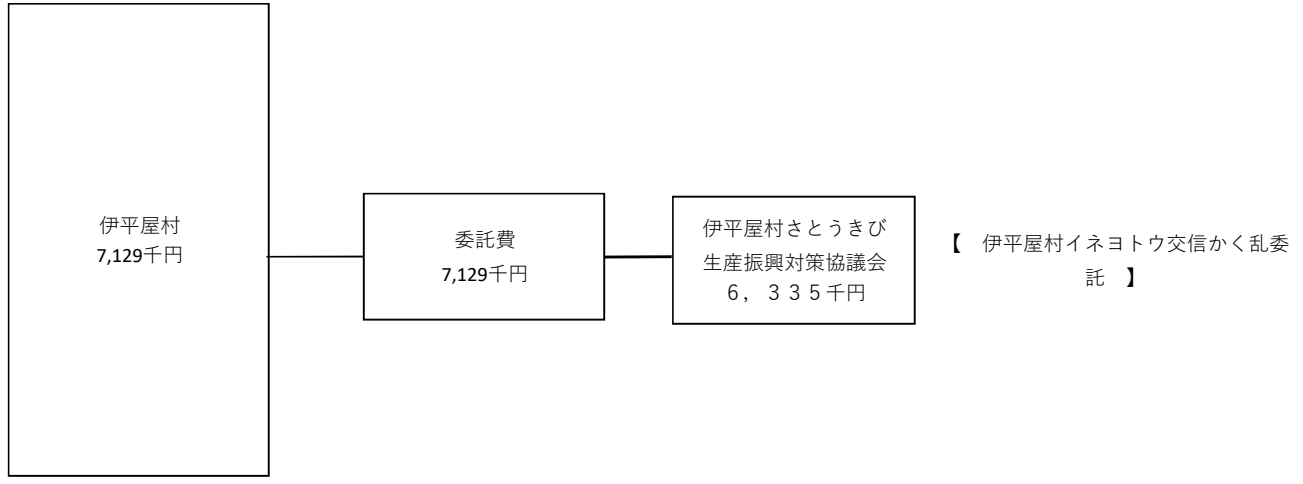
**今後の取り組み方針**

・JA及び生産農家・各関係機関と連携し、連絡会や総会等を通して肥培管理および薬剤使用等の指導を定期的に行う事で、病害虫(イネヨトウ)の慢性的な発生未然防止に取り組むと共に、関係機関と連携した共同防除を継続し、生産量の安定化に向け取り組む。

・沖縄県病害虫防除技術センター等の病害虫予察情報等を活用し、発生動向を考慮した早期防除に取り組むと共に、病害虫(イネヨトウ)の被害調査を実施し、当事業の効果検証および今後の被害軽減に向けた目標設定を明確化することで、より効果ある共同防除に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
7,129	7,129	5,703	1,426	



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、村及びJA、生産農家等で構成されている伊平屋村さとうきび生産振興対策協議会を選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業内容に見合うものとする。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については、防除剤設置作業を生産農家等の協力により実施しているため、負担を無しとしている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	伊平屋村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	伊平屋村優良繁殖牛導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備	
事業内容	農家の経営安定化を図るため、畜産農家が行う繁殖牛導入費用の一部(上限を50万として、購入費用の半額を補助)を助成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額		5,600	5,600	5,600	5,600	5,600
			5,590	5,600	5,600	3,200	5,600
			▲ 10	0	0	▲ 2,400	0
			0	0	0	0	0
			5,590	5,600	5,600	3,200	5,600
		5,590	5,535	5,544	3,132	4,635	
		4,472	4,428	4,435	2,505	3,708	
		0	0	0	0	0	
		100.0%	98.8%	99.0%	97.9%	82.8%	
	予算の状況の説明 前年度実績および現状を踏まえ、優良繁殖雌牛導入補助金の助成上限額を1頭当たり50万円として計画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年に比べ費用を抑えて購入することとなり執行額は減となった。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	優良繁殖雌牛導入頭数14頭		目標 ( 14頭 )	( 14頭 )	( 14頭 )	( 14頭 )	
			実績 14頭	14頭	8頭	11頭	
			目標 ( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響によりセリ値の価格低下による農家負担軽減があったものの、優良繁殖雌牛導入数11頭と目標を下回る結果となった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合 102%以上		目標 ( )	( 106%以上 )	( 106%以上 )	( 102%以上 )	( )
			実績	108%	108%	108%	
	【参考指標】		目標 ( )	( )	( )	( )	( )
			実績				
進捗状況説明	本事業により導入した繁殖用雌牛から産まれた子牛とそうでない子牛を比較した結果、目標を達成する事が出来た。						

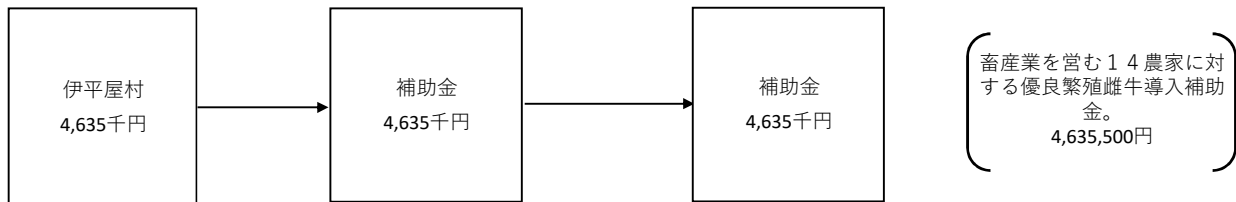
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により島外への渡航自粛もあって、雌牛を購入(導入)する時期等農家へ導入計画の支援をおこなう必要がある。</li> <li>・子牛のセリ値については市場の状況により乱高下することもあることから、小・中規模の経営体が多数を占める本村においては、安定的な畜産経営が行えるよう中・長期的な経営計画策定や事業による支援等を引き続き必要とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外において、繁殖用雌牛のセリ値は価格は下がっており、繁殖用雌牛の導入においては、例年に比べると費用を抑えて購入する事ができると考えられるため、早めに計画を立てるよう、関係団体と連携し説明会を開催するなど、農家の費用負担の軽減に努める。</li> <li>・畜産農家への支援としては、繁殖技術の向上等について講習会の開催や他地区との技術交流支援を行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

母牛点数の高い雌牛を導入し、産まれた仔牛(雌)を新たな繁殖用雌牛として育成することで、品質向上を図り、引き続き事業継続による導入を支援していく。また、説明会・講習会の開催や他地区との技術交流支援、畜産共進会等への積極的な参加を推進することで繁殖技術の更なる向上と村内の繁殖用雌牛の改良・更新を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,635	4,635	3,708	927	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、村内の畜産農家全員を対象としており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○自家保留する農家が増えたことにより減額となった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者への補助は、事業に係る費用の半額且つ上限額を定めており妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については、事業目的である繁殖牛導入に係る費用の補助のみとなり適正である。



市町村名		伊平屋村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	新伊平屋村製糖工場建設工事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-(12)-イ		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成29年～R2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業の振興		
事業内容	伊平屋村の製糖工場は、沖縄含蜜工場(8工場)の中でも最も古い施設で移設して52年が経過している為、建物の腐食や老朽化が著しく本質低下の恐れがある。平成29年度より沖縄含蜜施設近代化事業で建物・設備設計を実施し、それに併用して、沖縄県振興特別推進交付金(特別枠)を活用して施設を建設し、工場の機能向上を図り、伊平屋村さとうきび振興を推進する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H29年度(繰越)	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度
	(a) 当初予算額	201153		193,362		241,346		99,341
	(b) 予算現額	201153		155,659		241,346		99,341
	(c) 増減額(b-a)	0		▲ 37,703	0	0	0	0
	(d) 繰越額		136,366	155,659	155,659	82,476	82,476	0
	A. 計(b+d)	201,153	136,366	311,318	155,659	323,822	82,476	99,341
	B. 執行済額	64,787	136,366	0	155,659	158,870	82,476	99,341
	うち交付金充当額	51,829	96,135	0	124,527	127,096	65,980	61,703
	次年度繰越額	136,366	0	155,659	0	82,476	0	0
	執行率(%) (B/A)	32.2%	100.0%	0.0%	100.0%	49.1%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		関連事業の施設建築工事の施行遅延やコロナ対策により人員の確保に支障をきたしたが、年度内完了できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況						
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度			
	工事実施	目標	(工事の実施)	(工事の実施)	(工事の実施)	(工事の実施)		
		実績	工事繰越	工事繰越	工事繰越	工事完了		
	工事現場技術の委託	目標	(工事管理業務の実施)	(工事管理業務の実施)	(工事管理業務の実施)	(工事現場技術業務の実施)		
実績		工管理業務の繰越	工管理業務の繰越	工管理業務の繰越	工事現場技術業務の完了			
達成状況説明	関連事業の施設建築工事の施行遅延やコロナ対策により人員の確保に支障をきたしたが、年度内完了できた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R2年度)		
		設計業務・外構工事・現場技術業務・土地購入の実施	外構工事・現場技術業務の実施	建築ヤード工事・外構工事・現場技術業務・建築監理委託業務の実施	外構工事・現場技術業務の実施	外構工事・現場技術業務		
	外構工事・現場技術業務の完了	目標	( )	( )	( )	( )		
		実績	設計業務繰越・外構工事繰越・現場技術業務繰越・土地購入完了	外構工事・現場技術業務の完了	建築ヤード工事・外構工事・現場技術業務・建築監理委託業務の完了	外構工事・現場技術業務の完了	外構工事・現場技術業務	
	【参考指標】製糖期におけるさとうきび受入可能割合	目標	( )	( )	( )	( 100% )	( )	
実績					100%			
進捗状況説明	関連事業の施設建築工事の施行遅延やコロナ対策により人員の確保に支障をきたしたが、年度内完了できた。また、製糖期間内におけるさとうきびハーベスター収穫により受入可能割合は100%となっているため、目標を達成できた。							

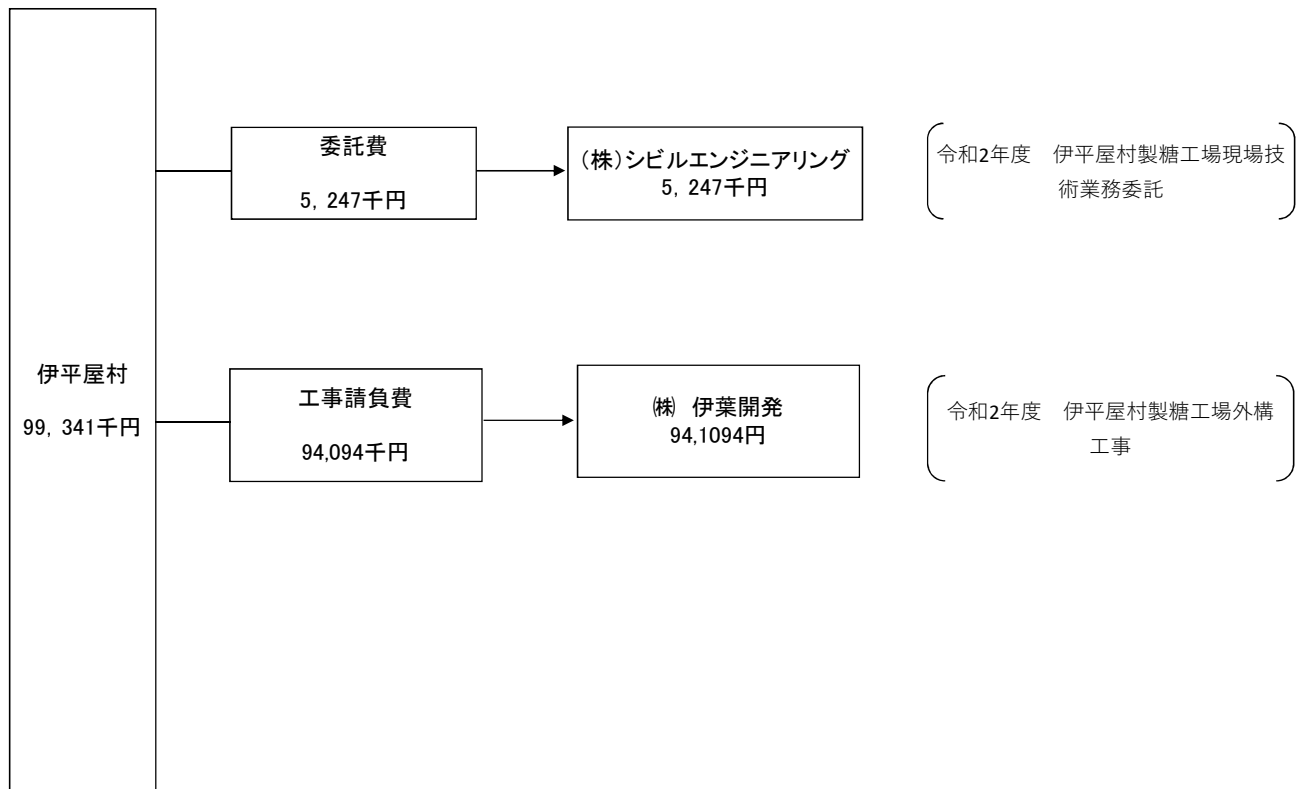
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>相次ぐ長雨や沖縄県内の建設ラッシュや全国的に季節工員の募集も行っていたが、必要な人員確保が難しく困難を極めた。</li> <li>自然災害(長期の雨)や新型コロナウイルス感染症対策により工場稼働が長期間を極めたため、今後の収穫期間における円滑な運営のため、関係機関との日程調整が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連事業の進捗状況及び、当事業実施に伴う各工程毎の進捗や円滑な操業を全体工程会議にて共有・検討することで、課題解決に向けた早期対応および業者間の密な連携により適切な工程管理が図られる。</li> <li>収穫期の円滑な運営に資するため、季節工の確保を早期に着手するとともに、製糖工場の施設点検や事前の稼働準備など安定的な操業と製品の品質向上を図るため、村・JA・関係団体と体制を検討する。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

伊平屋村のさとうきび増産プロジェクトによる増産計画に沿って通年をとおした、栽培管理の広報・肥培管理の徹底など、収穫期のアナウンスを各団体・各農家へ早期に周知するとともに、製糖工場の安定的な操業に向けた施設点検・機械等の稼働点検など、村・JA・関係団体が連携を密にし伊平屋村のさとうきびの安定的な生産確保および農業振興を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
99,341	61,703	49,362	12,341	37,637



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、指名競争入札により決定しているため、妥当である。 ○予算規模については、事業内容に見合うものとする。 ○費用・用途については事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

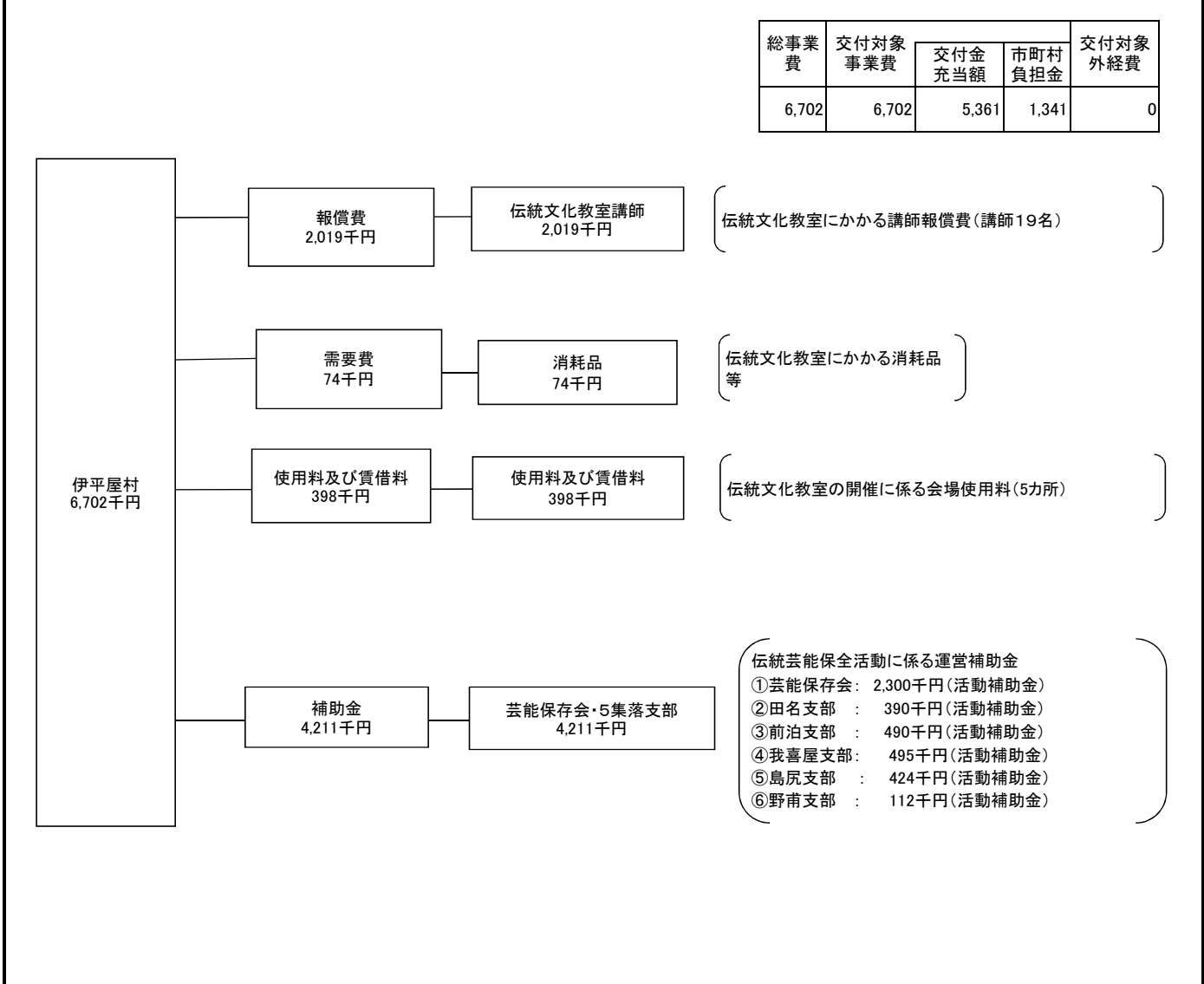
市町村名		伊平屋村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	伝統文化継承支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)-ア	
	担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成	
事業内容	島への誇りと愛着を醸成し、次世代を担う健全な人材を育成するため、伝統文化、伝統芸能について、老人会等との連携による課外講座の実施や保存会等の活動を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,022	14,462	7,452	9,148	7,290
		(b) 予算現額	4,685	14,983	8,752	7,946	7,290
		(c) 増減額(b-a)	▲1,337	521	1,300	▲1,202	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		4,685	14,983	8,752	7,946	7,290
	B. 執行済額		4,684	13,944	7,084	6,958	6,691
	うち交付金充当額		3,747	11,155	5,667	5,566	5,361
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	93.1%	80.9%	87.6%	91.8%
予算の状況の説明		・年度中に島外芸能フェアへの出演が決定し、補助予算を2,500千円増額。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により島外芸能フェアの中止、伝統文化教室の開催数の減に伴った講師への報償費等の減により、予算現額より執行率が低くなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	伝統文化教室の開催(毎月第3水曜日)	目標	( 18講座(11回) )	( 14講座(11回) )	( 14講座(11回) )	( 19講座(11回) )	
		実績	18講座(11回)	19講座(11回)	14講座(11回)	19講座(8回)	
	各支部・団体への支援(6団体)	目標	( 8団体 )	( 8団体 )	( 6団体 )	( 6団体 )	
		実績	6団体	6団体	6団体	6団体	
	伊平屋島記念公演(人間国宝の独演会)	目標	(      )	(      )	(      )	( 1公演 )	
実績					1公演		
達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化教室の講座数はR1年度よりも多く19講座となったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催数が前年度と比べ3回減となった。しかし、教室(特に舞踊・三線等)によっては、開催予定日とは別日に練習に励む等実活動数が増えた教室もあった。</li> <li>・各支部・団体への支援は、村芸能保存会において計画通りの実施が行われ、各支部にて伝統芸能継承を自発的に地域をあげ、継続的に実施することができた。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で島外の芸能まつりは中止となったが、島内での人間国宝の独演会は予定通り開催することができた。</li> </ul>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	伝統文化教室への参加率:100%	目標	(      )	( 100%(139名) )	( 100%(144名) )	( 100%(136名) )	(      )
		実績		105%(146名)	100%(144名)	100%(136名)	
	伝統芸能演舞者数:80名	目標	(      )	( 25名 )	( 80名 )	( 80名 )	(      )
		実績		71名	80名	66名	
	来場者数:100名	目標	(      )	( 323名 )	( 400名 )	( 100名 )	(      )
実績			556名	290名	140名		
進捗状況説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な伝統文化活動の日の実施により、各集落の主体的な取り組みで長年にわたり受け継がれてきた成果が、発表会にも表れ、演舞・掲示ともに充実した作品が見られ、参加率100%を達成した。</li> <li>・伝統芸能演舞者数については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、区の豊年祭・島外芸能祭り等諸行事が中止となり、それに伴い演舞者数は目標を下回ったが、当初予定していたイベント以外の新たな演舞機会を設け、目標達成に努めた。</li> <li>・人間国宝を招いての独演会は、予定どおり開催し、来場者数も目標を大きく上回った。</li> </ul>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、計画通り事業を推進できないこともあり、継承機会を減らさないよう活動の見直しが必要。</li> <li>・伝統芸能に係る着付け・化粧の担い手不足が問題。</li> <li>・すべての成果目標において、講師の高齢化が問題となっており、後継者育成は急務である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島内での活動を充実させ、また活動内容も新型コロナウイルス感染症対策に合わせて見直し、継承機会を維持することに努める。</li> <li>・着付け・化粧教室を開催し、各字ごとにその担い手を増やす。</li> <li>・伝統文化・芸能関連の公演会を開催し、興味関心を深め、継承の機運向上を図るとともに、地域人材リストを活用し、次世代の後継者発掘を積極的に行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・講師の高齢化・人材不足解消に向け、地域人材リストの活用等、地域や村民俗芸能保存会と連携しながら、人材発掘から最終的に育成まで行っていく。
- ・島外イベントの制限が多いため、この機会に島内での伝統芸能活動に焦点を当て、地謡・三線のみならず、化粧・着付けにおいても村民俗芸能保存会を中心とした後継者育成を進めて行く。
- ・伝統芸能公演会開催等、村民(村内の児童生徒含む)への機会提供を継続して行い、伝統芸能・文化への興味関心を深め、継承の機運向上を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は、計画通り芸能保存会を含めた6団体に限定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○計画変更に伴う増減はあったが、事業内容に見合った予算規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金に係る支出は、事業執行に必要な最低限な経費とし、それ以外は受益者負担であるため妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業目的に即した費目・使途で適正に支出されたものと考えられる。

市町村名	伊平屋村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進		
事業内容	個々にあつたきめ細かい学習支援を実施するため、特別支援教育支援員を各所へ配置する。 ①村営塾の塾講師を配置し、家庭学習支援等教科指導を強化する。 ②特別支援を必要とする児童に対し、学校専属の支援員を配置し授業支援の強化を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	24,090	24,652	20,768	23,125	23,150
		(b) 予算現額	24,090	19,769	20,768	23,125	23,150
		(c) 増減額(b-a)	0	▲4,883	0	0	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		24,090	19,769	20,768	23,125	23,150
	B. 執行済額		22,822	19,725	20,120	22,539	19,424
	うち交付金充当額		18,258	15,779	16,095	18,031	15,381
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		94.7%	99.8%	96.9%	97.5%	83.9%
予算の状況の説明		学校支援員が年度途中の配置となった事、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による村営塾の休塾等により減額して執行することとなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	特別支援を必要とする児童への支援員の配置名	目標	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )	
		実績	1名	1名	1名	1名	
	学習支援員の配置3名	目標	( 3名 )	( 2名 )	( 3名 )	( 3名 )	
		実績	3名	3名	3名	3名	
達成状況説明	・小学校特別支援員については、年度途中の採用であったが1名が配置でき、目標を達成した。 ・学習支援員については、3名が配置でき目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	対象となる児童の保護者へのアンケートで、特別支援の対応に満足したか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )
		実績		80%	89.50%	85%	
	沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均正答率の差 小学校(国語・算数・理科)-5.9ポイント以上 中学校(国語・数学・理科・社会・英語)-2.7ポイント以上	目標	(      )	(      )	小:-3.15以上 中:-2.7以上	小:-5.9以上 中:-2.7以上	(      )
		実績			小:-8.6 中:-17	小:+8.2 中:-11.2	
	進捗状況説明	・特別支援対象となる児童生徒の保護者へアンケートを行い、特別支援の対応に満足した、今後も継続して続けてほしいと感じ保護者が多くいた。児童の成長(人材育成)に繋がるものとして、有意義だと考えていることが分かった。 ・学力到達度調査における県と本村との平均正答率の差については、小学校については目標を大きく上回った。中学校は、目標には至らなかったが、前年度に比べて差を縮めることができた。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校での特別支援員については、年度途中(6月～)からの配置となったため、年度初めに配置できるよう学校・地域へ人材募集に関する情報共有を都度行う等、連携を強化する必要がある。</li> <li>支援を必要とする児童が複数いるため、それぞれの年齢や発達状況(個性)に応じた学習支援をするためには、常に学校・保護者と連携しながら取組・改善をする必要がある。</li> <li>村営塾の学習支援員については、属人的な支援にならないよう関連各者間で業務フロー作成及び都度共有、個に応じた対応策を取り入れる等、継続的・系統的な学習支援が実施できるよう留意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する特別支援、学習支援の在り方について保護者ニーズを把握するとともに、学校・保護者との密な連携や外部専門家との連携により、更に多角的・多面的に支援ができるような取組を推進する。</li> <li>児童・生徒の実態把握を含めた学校・保護者との連携を進めながら、個別的・専門的な指導の強化を図る。</li> </ul>

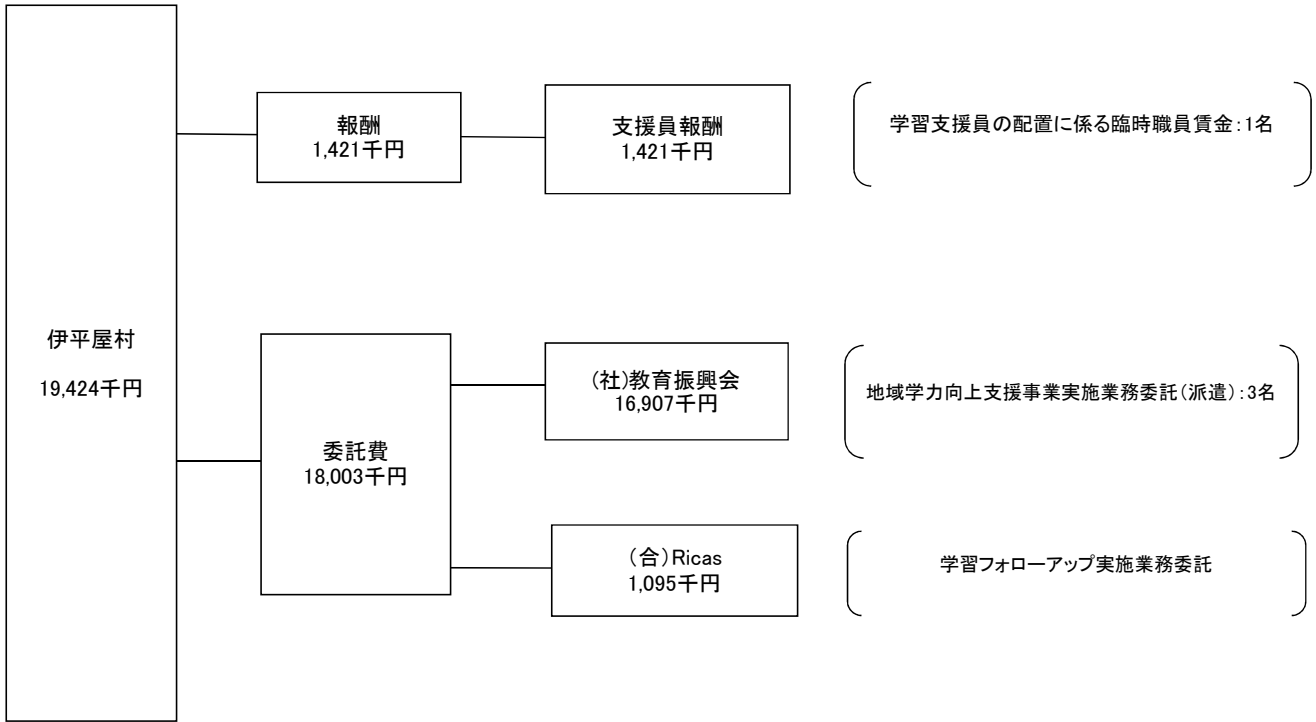
**今後の取り組み方針**

・児童・生徒の発達の多様化により、学習支援の在り方は日々変化・改善する必要があるが、そのためにはまず保護者理解・協力を得ることが重要と考える。外部専門家との接触機会や学校側からの働きかけを増やす等、相互信頼の上で多様なサポート体制を構築する。

・村営塾の学習支援については、今後新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休塾などで継続的な支援の場が失われることもあると考えられる為、充分な感染症対策はもちろん、学校・保護者の協力を得ながら、支援方策の検討及び実施・改善を繰り返し、適応性を意識し事業を推進する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,424	19,227	15,381	3,846	197



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員配置について、業務実績、実技能力を加味して選定しているため、妥当であったと考える。 ○計画変更による不用額を除いては、事業内容に合った予算規模であったと考える。 ○事業目的に即した人件費・委託費の支出であることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	英語学習支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(ア)	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育委の推進 III-3-(1)	
事業内容	グローバルな時代に適応できる国際性豊かな人材を育成するため、イングリッシュキャンプの開催による動機付けや、本村の中学生を海外に派遣し、異文化を体験する機会を与える。また、イングリッシュキャンプでは英語での自己紹介・地域の紹介やスキットなど英語を使った発表機会を多く盛り込むなど、語学学習だけでなく幅広い表現力の向上を図ることを目的とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	<b>予算の状況</b> (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額	A. 計(b+d)	1,890	1,890	1,930	1,930	2,150
		B. 執行済額	1,890	1,890	1,930	1,786	310
		うち交付金充当額	0	0	0	▲ 144	▲ 1,840
		次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	77.0%	97.0%	94.9%	94.7%	78.1%	
	予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外短期留学派遣の実施ができず、1,810千円補助金減額したが、島内でのイベントについては、事業計画通りに執行する事ができた。					
	<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)	達成状況				
				H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
		海外短期留学(アメリカ):3名	目標	( 3名 )	( 3名 )	( 3名 )	( 中止 )
実績			3名	3名	3名	中止	
イングリッシュキャンプ:30名		目標	( 20名 )	( 20名 )	( 30名 )	( 30名 )	
		実績	12名	32名	23名	27名	
達成状況説明	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、毎年利用している海外短期留学プログラムが中止となり、他のプログラムも検討したが海外への派遣自体が難しく、留学派遣の実施ができなかった。 ・イングリッシュキャンプは、中学生の参加が少なく、目標人数を下回る状況となった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
		目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
	保護者へのアンケートで、外国人講師との交流を通して、児童生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%)を含め、当該事業の在り方について検証する。	実績		80%	80%	87%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
	進捗状況説明	実績					
		講師・ボランティアスタッフの適正な人員確保ができ、また相互連携もうまく取れていたことから、スムーズな学習支援が実施できた。アンケート結果の満足度も高かった。小学校低学年の参加者が多く、小学校高学年～中学生の各世代への深い学びの提供という点において、配慮が必要と感じた。					

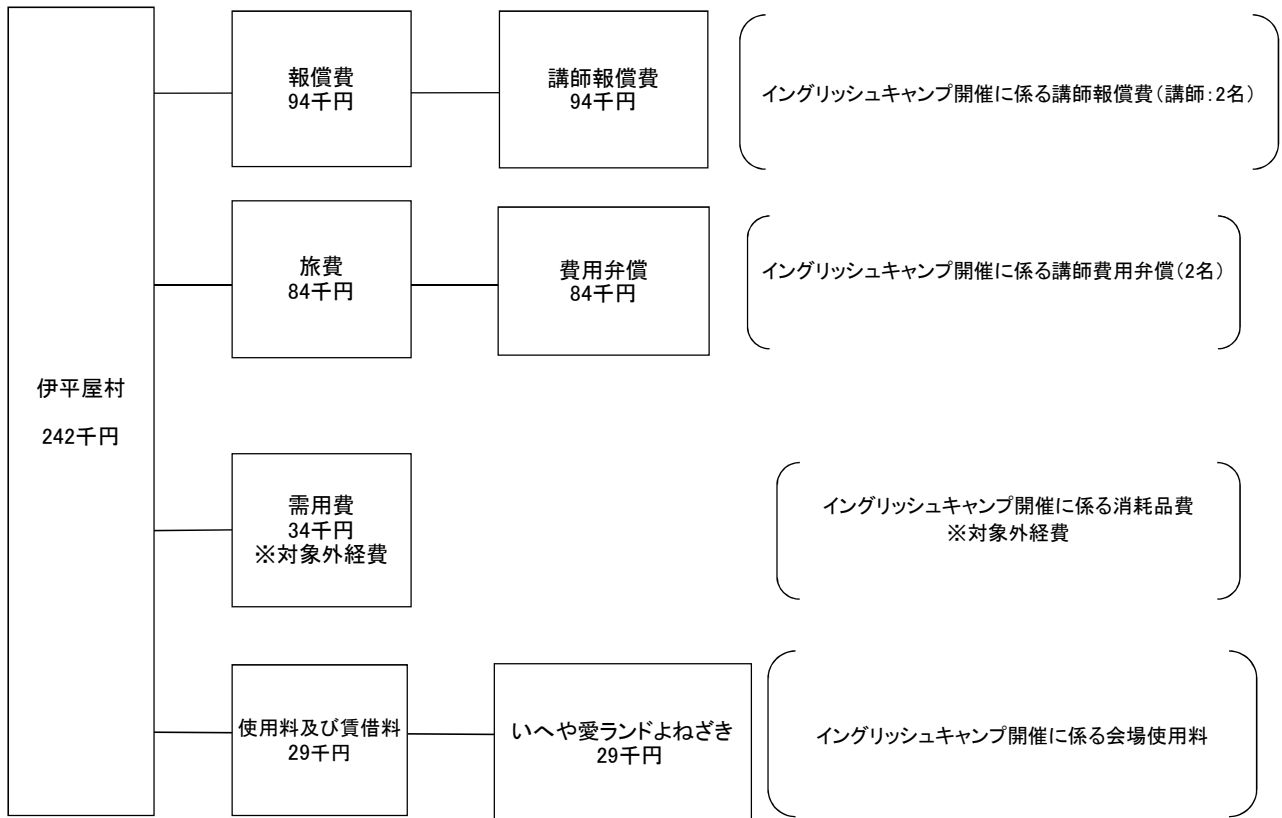
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外短期留学派遣の実施が出来なかつたが、代替プランの提供等、予め準備する必要がある。</li> <li>児童・生徒の英語学習への意欲を上手く引き出せるよう、習熟度別・世代別クラスの設定など、関心度や向上心を高める活動内容にする必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外派遣について、他の市町村・機関とも連携しながら、如何なる状況下でも事業が実施できるよう、柔軟な対応に努める。</li> <li>イングリッシュキャンプについて、世代別の学習テーマを設けたプログラムを検討することと合わせ、英語講師の獲得に向け、関係機関との継続的な連携を図る。また、ボランティアスタッフについても、地域・保護者への理解・協力を呼びかけ、児童・生徒への更なる支援強化を図る。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・海外短期留学派遣について、持続可能な学習支援の提供を目指し、他の市町村・外部機関ともうまく連携を取りながら事業推進する。  
 ・イングリッシュキャンプの参加者増に向け、プログラムを習熟度別・世代別にする等、各参加者が深い学びを獲得できるよう都度改善見直し、併せて学校・保護者への積極的な呼びかけ、周知を行う。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
242	208	166	42	34



資金の流 れ、費 目・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○プログラムに即した内容が実施可能なため、選定については妥当だったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○計画変更があったが、それ以外は事業内容に見合った予算規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途は事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		伊平屋村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	伊平屋島児童・生徒島外派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	村外で実施されるスポーツ大会や文化交流等各種教育活動に積極的に参加し、本島との交流機会が少ない離島の特殊性の平準化に努め小規模校では経験できない他地域との交流や各種イベント・スポーツ体験を通し、児童生徒の健全な育成を推進するため、派遣費用を助成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,880	1,906	2,135	2,135	2,151
		(b) 予算現額	1,880	1,707	1,635	858	1,310
		(c) 増減額(b-a)	0	▲199	▲500	▲1,277	▲841
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		1,880	1,707	1,635	858	1,310
	B. 執行済額		1,534	314	617	749	164
	うち交付金充当額		1,227	251	493	599	131
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		81.6%	18.4%	37.7%	87.3%	12.5%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症拡大防止等の影響により各種大会の開催制限があり、予算額841千円の減額および執行率においても大幅な減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(小学生4回・60名)	目標	( 5回 97名 )	( 9回 135名 )	( 9回 135名 )	( 4回 60名 )	
		実績	5回 97名	7回 88回	7回 136名	1回 20名	
	島外開催イベント及びスポーツ大会、文化交流等への参加(中学生4回・216名)	目標	( 6回 47名 )	( 6回 324名 )	( 6回 324名 )	( 4回 216名 )	
		実績	6回 47名	16回 135名	9回 81名	1回 26名	
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度内のほとんどの大会が開催を制限され、目標値を大きく下回る結果となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が広い視野をもてたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方について検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )
	実績			80%	80%	80%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	児童・生徒の島外派遣については、各種大会の開催制限があり、参加できた島外大会は少なく、目標の達成ができなかった。しかし、各チーム(学校)とも、村内の一般チームと練習試合をするなど、島内活動を通して継続してスキルアップ向上に励んだ。					

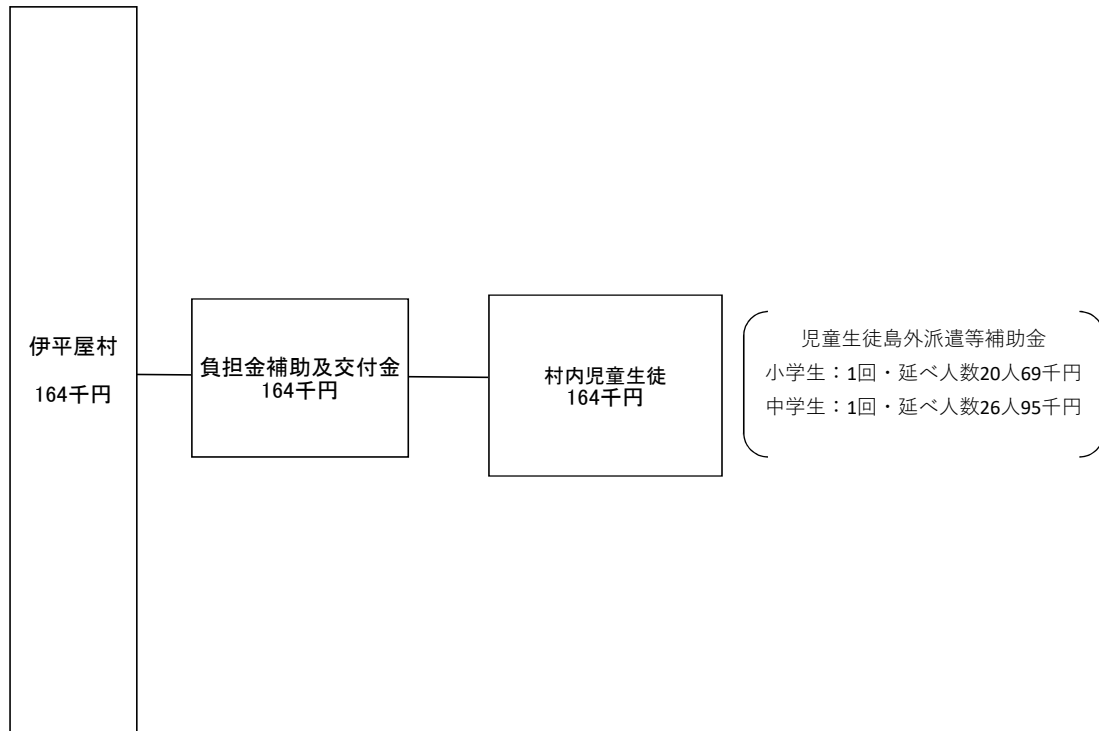
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会派遣後に、大会中止が決定したり等、学校側・大会事務局との相互連携が不足している部分があった為、本村から島外へ派遣する際の最終確認は入念に行う必要がある。</li> <li>村内の地域行事は児童・生徒も参加する行事もあるため、日程等が重複しなゆに優先順位をあらかじめ学校職員・役場・関係者と協議する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大会派遣をする際は、可能な限り地域の保護者の負担軽減や参加スケジュールを学校職員・役場・関係者と共有を図り、新型コロナ感染防止にかかる大会中止が見込まれる場合の決めごとやマニュアル等も作成・整理する。</li> <li>新型コロナ感染予防にかかる参加者側(本村)の派遣が制限されないよう、引き続き島内での感染症対策を徹底し、青少年健全育成にを推進し本島との交流等を積極的に行う為、持続可能な事業の実施を目指す。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・大会派遣に係る事前の関連各者間の相互確認を徹底し、適正な事業実施を目指す。  
 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響による大会の開催制限は今後も発生することを踏まえ、学校・地域と連携をとりながら「新しい生活様式」の徹底に努め、交流や各種イベント・スポーツ大会等が積極的に実施できるよう取り組んでいく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何をを行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
164	164	131	33	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出は、児童生徒の所属する団体であったことから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○中止・延期に伴う大会の開催制限以外は、事業内容に見合った規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○船賃及び宿泊費以外の経費については受益者が負担していることから妥当であったと考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途は事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。

市町村名	伊平屋村
------	------

**令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	3-⑤ 伊平屋島起業家人材育成事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア
担当部課名	観光交通課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和3年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	III-3-(1)

**事業内容**  
 15歳で伊平屋村から島立ち(離島)する生徒へ伊平屋村の資源を活用した商品開発と、作製した商品を実際に店頭で売る販売体験、沖縄本島での職場体験学習を行い、島への誇りと愛着を醸成による起業家マインド・キャリア育成を通し就業意識の向上を図ることを目的とする。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(      年度)

**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他(      )

		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	4,908	4,248	3,867	4,778	4,809
	(b) 予算現額	4,008	4,248	4,198	4,168	4,809
	(c) 増減額(b-a)	▲ 900	0	331	▲ 610	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	4,008	4,248	4,198	4,168	4,809
	B. 執行済額	3,787	3,604	3,854	4,021	2,187
	うち交付金充当額	3,029	2,883	3,083	3,217	1,708
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	94.5%	84.8%	91.8%	96.5%	45.5%
予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、島外での職場体験・販売体験を行うことができなかった。また、同理由で授業実施に係る村外サポーターの来島人数が、見込み人数よりも減った他、オンライン授業により旅費の発生が抑えられたため、執行率45%に留まった。					

活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)	達成状況			
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
・商品開発を通じた生徒への研修	目標	(      )	( 研修の実施 )	( 研修の実施 )	( 研修の実施 )
	実績		研修の実施	研修の実施	研修の実施
・パッケージデザイン決定	目標	( デザイン決定 )	( デザイン決定 )	( デザイン決定 )	( デザイン決定 )
	実績	デザイン決定	デザイン決定	デザイン決定	デザイン決定
・商品開発・職場体験を通じた商品の発表会	目標	( 発表会実施 )	( 発表会実施 )	( 発表会実施 )	( 発表会実施 )
	実績	発表会実施	発表会実施	発表会実施	発表会実施
・本島への職場体験(商品の販売)及びセミナー講座	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )
	実績	実施	実施	実施	未実施
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内中学1年生が伊平屋村内の企業と共同で地域資源の掘り起こし等、特産品を通じた研修を実施し、特産品の商品開発からパッケージデザインの決定まで一連を通して実施した。</li> <li>・村内中学2年生は、新型コロナウイルスの影響で本島での職場体験および令和元年度に自ら開発した特産品の販促体験を実施することはできなかった。(代替措置として村内での職場体験と沖縄本島内スーパーでの委託販売を行った。)</li> <li>・中学1年生及び2年生共に、商品開発・職場体験を通じた発表会にて、展示物・掲示物での発表を行った。</li> </ul>				

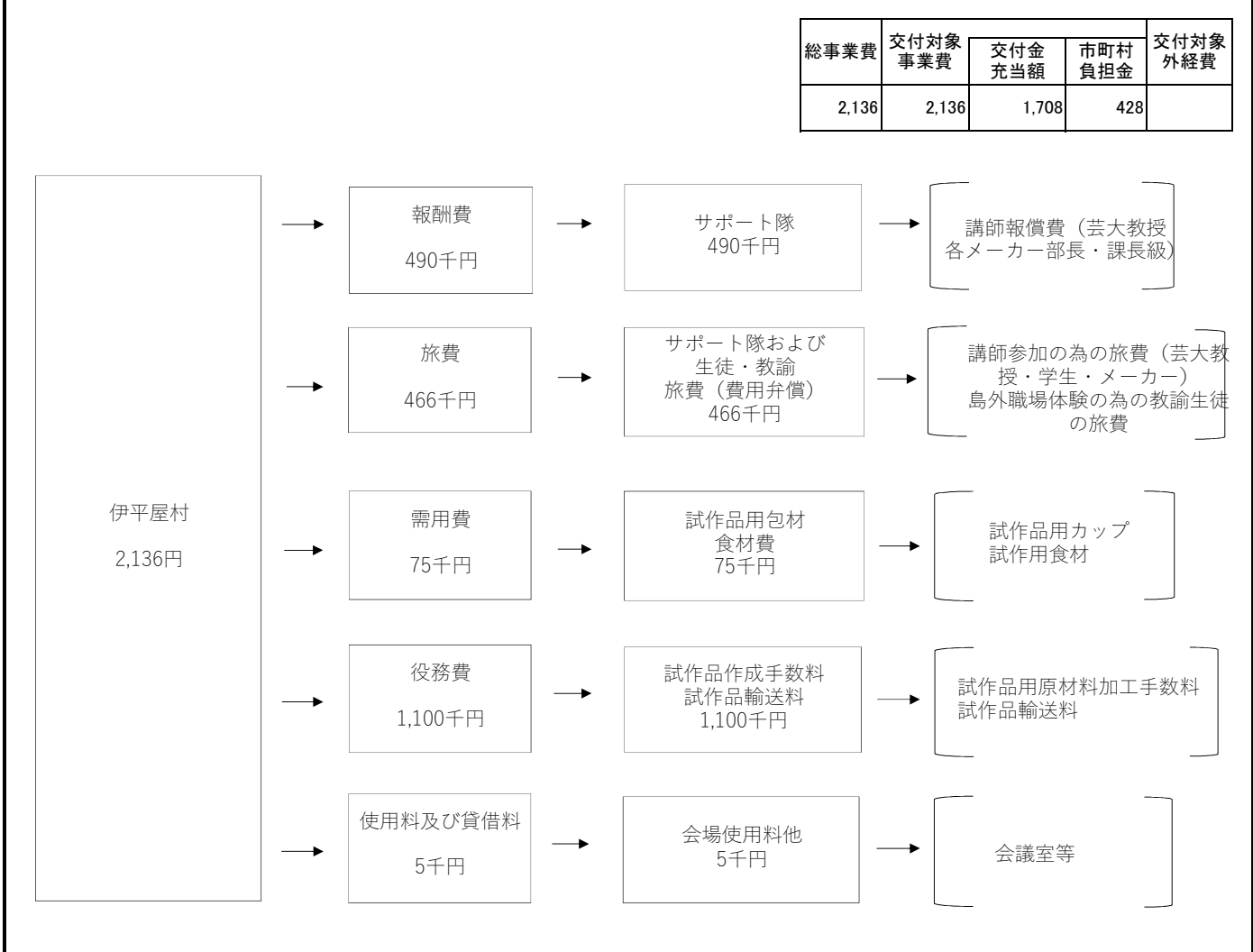
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(85%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )
	実績		83%	81%	38%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業の検証について、働くことへの興味・関心が湧いたかアンケートを実施したところ、新型コロナウイルスの影響で職場体験や販促体験が行えなかったこともあり、目標値の85%には届かず38%だった。</li> </ul>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケート) <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は新型コロナウイルスの影響により、1年生の商品開発授業では村外の企業に依頼することが困難であったため、村内の企業に依頼し実施した。また、オンラインによる授業に積極的に取り組んだが、初めての取組でもあり生徒の満足度や働くことの興味関心は低かった。</li> <li>・例年通りの授業内容に固執した結果、島内の事業者であるメリットを活かした授業を行えなかった点など反省点が多かった。</li> <li>・2年生の授業では沖縄本島の職場体験や、平成31年度(当時、1年時)に開発した商品の販促体験が中止になったことにより、中心的な取組ができなかったため、生徒たちの働くことへの興味・関心が低い状況となり目標未達成の要因であると考えられる。</li> <li>・対面での販促体験の代替措置として店舗での委託販売をおこなったが、新型コロナウイルスの影響で授業を延期した結果、タイトなスケジュールで授業を行ったことや、直前で販売価格等の急な変更があったことが生徒たちの満足度の低下に繋がったと考えられる。</li> </ul>	(キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケート) <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業の環境を整えとともに、授業の回数を含むスケジュールの見直しを行う。</li> <li>・また沖縄本島内での職場体験や販促体験に関しても協議しコロナ禍でも行えるよう取組・検討を行う。</li> <li>・本事業の性質上、直ぐに効果発現が得られるものではないため、継続的な取り組みが必要である。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、例年通りの授業を行うことが難しく、結果として生徒の心情や満足度に配慮できていなかった部分があった。外部講師や担任教師と連携し、授業効果を高めたい。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

(キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケート)  
 ・引き続きキャリア教育に取り組むとともに、事業内容のとおり島で起業する力を身につけさせるための授業プログラムの構成を行っていく。また、地域・学校・行政が一体感を持って取り組めるよう、情報を共有し、さらに生徒たちに授業内容のアンケートを定期的に取り、生徒たちの満足度や、生徒の就業意欲を高めるように改善を行っていく。  
 ・新型コロナウイルス感染症によるスケジュールの変更などについて協議を重ね、柔軟に対応を行えるように準備をする。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、この事業に特化した企業等を選択、継続的な事業であるため、専門性が高く妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は事業内容を精査したところ、事業内容に資する規模と判断したため妥当と考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について支出に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊平屋村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	幼稚園預かり保育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 III-9	
事業内容	幼稚園預かり保育の実施により島における定住条件の整備を図るため、嘱託保育士を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額		2,268	2,268	2,268	2,268	2,160
			2,268	2,268	2,268	2,268	2,160
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0
			2,268	2,268	2,268	2,268	2,160
		2,208	2,157	2,201	2,165	2,015	
		1,766	1,725	1,760	1,732	1,597	
		0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	97.4%	95.1%	97.0%	95.5%	93.3%
	予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休校措置による勤務日数の変動等があり不用額(145千円)が生じたが、事業計画通り概ね執行できた。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	嘱託保育士の配置	目標	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )	( 1名 )	
		実績	1名	1名	1名	1名	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
実績							
達成状況説明	伊平屋幼稚園において令和2年4月から令和3年3月までの期間に嘱託保育士1名を配置し、目標を達成した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	保護者へアンケートを実施し、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業の在り方を検証する。	目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )
		実績		軽減された100%	軽減された100%	軽減された100%	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
進捗状況説明	12名(幼稚園在籍幼児14名中)の預かり保育対象幼児に対して、預かり保育を実施した。アンケートにおいて、すべての保護者が「育児の負担感が軽減された」と回答し、目標を達成した。						

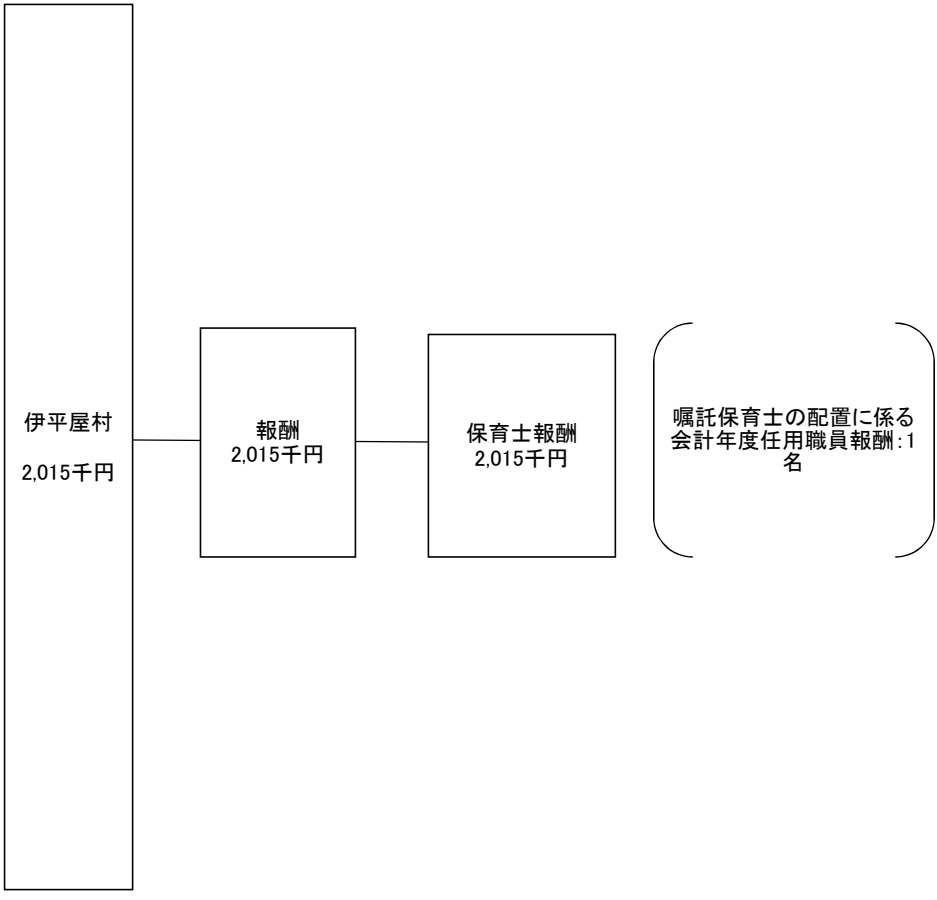
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の適正な活動計画を立案し、計画に沿った事業推進及び事業を今後も継続して実施する必要がある。</li> <li>・保護者アンケートの結果、幼稚園預かり保育支援事業についてすべての保護者から「満足」との回答を得ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も現場の保育士や保護者双方と意思疎通を図りながら、引き続き安心・安全に利用しやすい環境づくりに努める必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

保護者へ実施したアンケートにて預かり保育に十分満足いただき、「ぜひ今後も継続して取り入れてほしい」というご意見を多数いただいた。今後も安定的な人材確保に努めるとともに、地域における子育て支援の充実、よりよい保育サービスを展開し、働き世代家庭の定住促進に寄与する取り組みを実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,015	2,015	1,597	400	18



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出費目は保育士賃金のみであり、公募による募集を行い選定したことから妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は保育士1名の賃金であり、事業内容に見合った適正な規模である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○保護者より預かり保育料を適切に徴収しており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業目的達成の観点から必要なものであるか等、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正

市町村名		伊平屋村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	総合経営企画課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	本村と島外を結ぶ唯一の交通手段である村営フェリーにおいて、住民生活を圧迫する要因となっている自動車航送運賃コストを軽減し定住環境の改善を図るため、その一部を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		55,104	57,100	63,562	67,064	67,041
			56,767	65,074	67,993	70,869	55,806
			1,663	7,974	4,431	3,805	▲ 11,235
			0	0			0
	B. 執行済額		56,635	64,464	67,993	70,027	55,806
	うち交付金充当額		45,308	51,571	53,394	56,021	44,645
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		99.8%	99.1%	100.0%	98.8%	100.0%
	予算の状況の説明		前年度と同額程度の利用を想定し当初予算を計上したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等により利用が減ったことで補助金を11,235千円減額補正した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	自動車航送運賃の低減 R2年度:年間5,176台 (H26年度:4,570台)	目標 (自動車航送運賃の低減年間5,496台)	(自動車航送運賃の低減年間6,240台)	(自動車航送運賃の低減年間6,300台)	(自動車航送運賃の低減年間5,280台)		
		実績 6,168台	6,493台	6,608台	5,176台		
		目標 ( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	設定した活動目標は達成できた。 対前年と比較すると新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により32%減となっているが、村民への事業周知が浸透してきていること、また村民の経済活動の活性化も図られていると考える。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標 ( )	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	( )	
		実績	97%	100%	95%		
		目標 ( )	( )	( )	( )	( )	
		実績					
進捗状況説明	島民へのアンケートを実施した結果95%の人が図られたと感じると回答している。このことから当事業において、医療機関への通院や冠婚葬祭、教育関係行事等沖縄本島における移動手段が確保されたことにより、村民の経済的負担の軽減が図られ、定住環境の改善がなされたと考える。						

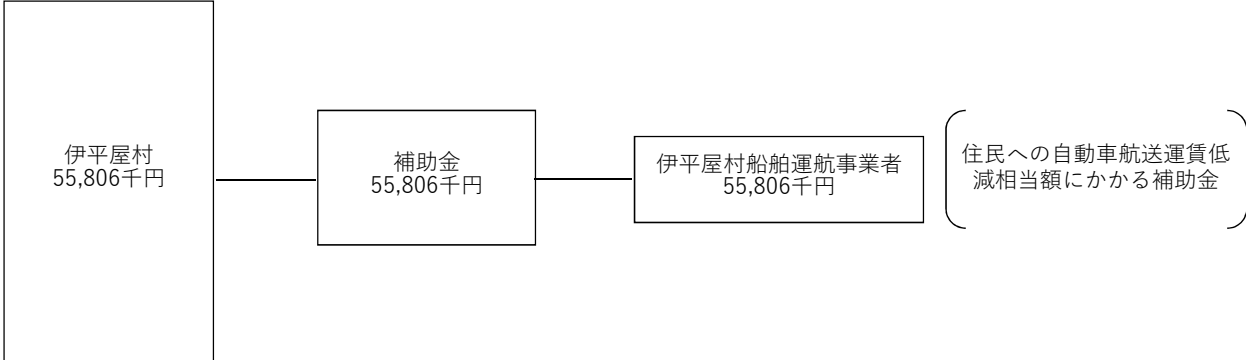
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・チケット購入時の車両を乗せる場合、予約済み車両の場合であっても出発20分前を過ぎた場合はキャンセル扱いと、キャンセル待ちの乗船者を優先するなど乗船作業の効率化を図っているものの、予約者の出発5分前の駆け込み乗船等は未だ発生し満車時はトラブルの原因となっている。</p>	<p>・車両乗船に係るチケット購入について、予約済み車両は出発20分前までに購入、予約なし(キャンセル待ち)車両は優先して20分前から購入可能とする旨を村民や観光客へ周知徹底し、運用することで、安全な車両乗船と乗船作業の効率化を図る。</p>

**今後の取り組み方針**

・車両予約確認体制の継続とチケット購入に係る運用体制を強化し、運天港と本村フェリー及び前泊港3方で予約情報についての情報共有を行い、住民および観光客へチケット購入についての運用に理解と協力を得ることで、より安全・安心で効率的な車両乗船が行えるよう取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
55,806	55,806	44,645	11,161	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については公益性があり妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、増額補正があったものの概ね妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担については沖繩離住民等交通コスト負担軽減事業を参考にしているため妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業目的達成において支出等に関する書類により確認し適正であった。